

高校生未来サミット VOL.6

11月2日～4日、第6回高校生未来サミットが開催され大阪と福島の高中生20名が参加しました。様々な課題や実践を体験し、自分達の描く未来への提言を発表しました。



新田弦五さんの思いの込められた講義



有機・不耕起農業を実践するあたら食農 School farm

1日目 現地で体験する 大震災・原発事故被害

1日目は東日本大震災と原発事故被害が継続している浜通り地域を視察しました。相馬市の浜通り農産物供給センターでは原発事故以降継続している玄米の全袋検査を視察しました。原発周辺の8市町村では令和6年産の水稲玄米を全袋検査を実施しています。検査され安全が確認された玄米には追跡可能なバーコードが張付られ、携帯などでも確認できます。



請戸小学校の黒板には、当時の思いが残されている



玄米の全袋検査を視察

2日目 やりたいことは、 やったほうがいい

2日目は昨年から二本松市にご夫婦で新規就農された新田弦五さんから、就農に至る経緯について熱く語っていただきました。新田さんはこれまで様々な職業を経験され、農業にたどり着いたことや、やりたいと思ったことはとことん調べて、工夫してやってみれば良いと高校生にエールを送りました。高校生からは熱い大人の話に共感の感想がたくさん寄せられました。

希望 ソーラーシェアリングに

午後からは二本松市内でソーラーシェアリング事業を行う株式会社 Sunshine の塚田晴さんから説明をいただきました。ここは耕作放棄地だった6haの水田を改良し、太陽光発電と農作物で太陽の光をシェアする農場です。塚田さんは農業高校を卒業後、農場長として小麦、大豆、えごま、シャインマスカットなどを栽培しています。昨年からは牧草地に牛の放牧も開始し、視察者をお迎えしています。塚田さんは「農業とエネルギー生産を同じ圃場でできることは効率も良く、新しい農村のスタイルになる。」と説明します。



ソーラーシェアリングの下で6種類のブドウ栽培

牛4頭が迎えてくれる発電所

未来サミットに参加した感想

高校生

私は未来サミットに参加して農の未来(有機農業)や持続可能なエネルギーなど生きていくうえで大切なことを学びました。これらの課題をさらに学んで多くの方と意見交換できたらいいと思います。身近な友人、家族にここで体験したことを伝え、少しでも興味を持ってもらいたいです。提言発表で発表したように、今ある社会課題について、自分のことのように考えていける社会を目指したいです。

3日目 未来への提言

3日目は福島大学食農学類の教室を借りて、2日間の視察を経て、農業、食料、エネルギーなど自分達の未来はこうありたいと4班に分かれ大人も一緒にディスカッションを重ねました。最後に自分たちで考えた「未来への提言」を発表しました。大阪と福島の高中生がお別れするバスの中では、このサミットに参加できて良かったとそれぞれ感想を話してくれました。感性豊かな高校生にとって一緒に考え、話し合うという機会がとても重要であり、一緒により良い未来を作っていこうと改めて思います。

自分達の考えた「未来への提言」発表



農民連フラッシュ flash

第38回福島県農民連定期総会

12月8日第38回定期総会を二本松市岳温泉で開催しました。参加者は約100名でした。討論では14名が登壇し、若い新規就農者の発言が多くありました。「政治の役割は二つ、一つは国民を飢えさせない、もう一つは絶対に戦争をしないこと」この菅原文太氏のスピーチを再確認し、新しい一年を頑張ろうとお互いを鼓舞しました。



政府・東電交渉

12月19日政府・東電交渉が行われました。早朝からバスで東京へ向かい、福島県内からは45名が参加しました。首相官邸前では、参加者全員が気持ちをひとつに怒りのシュプレヒコールを響かせました。政府は福島原発事故を忘れてしまったのでしょうか。原発再稼働反対！再生可能エネルギー普及にもっと力を入れるべき！これからも私たちは諦めずに声を上げ続けます。



楽天市場出店はじまりました！

お店の名前は **【福島農民連の Koranshop】**

福島の方言、こらんしょ「いらっしゃい」「来てください」という意味からきています！
楽天市場からのご購入お待ちしております！



こちらから